

くりの実会

第7回定期演奏会

25周年記念



2005年6月26日(日) 14:00開演

紀尾井ホール

後援 JCDA 日本合唱指揮者協会

東京都合唱連盟

ご挨拶

本日はお忙しいところ、私達の演奏会にお越しいただき有難うございます。

“仲良く楽しく真摯に”をモットーに歌う喜びに魅せられ、歌える幸せに感謝しながら 25年目を迎えました。

始めは、遊び廻る子供達の騒音でピアノの音もかき消されがちでしたが、今はその子供達も親となり、時の流れの速さに驚くばかりです。

最近では、創立時からのメンバーに加え熱心な若いメンバーも増え、お互いに刺激し合いながら練習に励んでおります。

昨年は、第27回全日本お母さんコーラス全国大会に東京代表として3度目の出場を果たし、更に活動の場を広げております。これも豊かな音楽性とユーモアを交えてご指導下さる辻先生、今年から新しくピアニストとしてお迎えしたソロ活動、合唱・声楽の伴奏等でご活躍中の川井先生、情熱をもって鍛えて下さるヴォイストレーナーの佐竹先生、阪口先生のおかげと感謝致しております。

これからも、新しい歌との出会いに胸をときめかせて精進して行きたいと思っております。今後共よろしくお願い致します。

くりの実会一同

くりの実会が創立25周年を迎えました。

自分がそのうちの21年余りを指揮してきたことを思うと、責任を感じます。

しかし、それ以上に自分がそうしてこれた事に大きな喜びと、メンバー一人一人への感謝の気持ちが溢れて来ます。

これだけの年数をすごしてくると、当然の事ながらメンバーの皆様とは悲喜交々の出来事を共有してきました。素晴らしい出会いも、本当に悲しいお別れも・団全体としてはもとより、団員個々の喜怒哀楽さえも歌うことで包み込んできた経験は得難いものでした。

この素晴らしい音楽の殿堂、紀尾井ホールでのコンサートも3回目と成りました。贅沢な話です。ヴォイストレーナー陣も、ピアニストも、共演して下さる器楽奏者の皆さんだって豪華でしょう！？創立以来団長を続けておられる鬼久保さん以下、歌うこと以外の準備は本当に、完璧に仕上げてくれました。変な人達です。これは、毎回の練習での弾ける笑顔と共に、25年間全く変わらぬこの合唱団のカラーです。

あと25年たつと私は70歳を超えます！！

その日の演奏会で私は指揮をしているのでしょうか…何人のメンバーが歌っているのでしょうか！？でも、このくりの実会のメンバーにとって、この会がいつまでも心の拠り所として続いていることを心から祈っています。

辻 秀幸

プログラム

指揮 辻 秀幸
ピアノ 川井敬子

I. 女声合唱とピアノのための

夢二幻想より

尾崎左永子 詩・小林秀雄 作曲

宵待草の歌
揺れる
秋のところに

ソプラノ 佐竹由美
アルト 阪口直子

II. 思い出のうた

くりの実
つきよ
かっぱ
霧と話した
ハヴァ ナギラ
(兄弟集れ!一緒に歌おう・そして幸せになろう)
聞こえる

大野晴子 作詩・大中恩 作曲
深尾須磨子 作詞・中田喜直 編曲
谷川俊太郎 作詩・三善晃 作曲
鎌田忠良 作詞・中田喜直 作曲
J. ツェグレディ 作曲

岩間芳樹 作詩・新実徳英 作曲
ナレーター 橋本和代

III. 四つの沖縄の歌

子守歌 (八重山民謡)
遊び歌 (沖縄本島の子ども歌)
別れの歌 (宮古島民謡)
舞の歌 (沖縄民謡)

中村 透 作曲

IV. 大きなくりの実たちの宴

「音楽の夜会」より

ロッシーニ 作曲

・アルプスの羊飼の娘
・セレナータ

佐竹由美
佐竹由美・辻 秀幸

夢のあとに

阪口直子 フォーレ 作曲

オペラ「ホフマン物語」より

オッフエンバック 作曲

・ホフマンの舟歌

佐竹由美・阪口直子

V. A Little Jazz Mass

Bob Chilcott 作曲

Kyrie
Gloria
Sanctus
Benedictus
Agnus Dei

Drums 佐伯正彦
Wood Base 川口有喜

プロフィール

辻秀幸 Hideyuki Tsuji (指揮)



幼少よりヴァイオリン・ピアノ・フルート・金管楽器・作曲を学び、東京藝大音楽科及び同大学院独唱科終了。声楽を渡邊高之助、宗教音楽を小林道夫・佐々木正利の各氏に師事。1985年イタリアのミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。L. グッアリーニ女史・F. タリアヴィーニ・H. リリングらの各氏に師事。

1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。同年ドイツのハイデルベルク、1988・89年にはウィーン楽友協会大ホール、2000年にはカイザースラウテルン、パッサウ他、数都市でベートーヴェン“第九”のソリストを務め、ヨーロッパ各地でコンサートに出演し好評を博す。国内でもドイツ・イタリア・日本歌曲を中心に各地でユニークなリサイタル活動を展開する。オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演し、その優れた歌唱と演技は、新聞・音楽誌上でも度々絶賛された。特に宗教音楽の演奏家としての活躍は目覚しく、バッハ・ヘンデル・ハイドンの宗教曲・オラトリオの演奏では、ソリスト・エヴァンゲリスト・また指揮者として、その活動は常に注目を集めている。現在指導にあたっているアマチュア合唱団は十数団体を数える。共著に『わかって歌おうシリーズCD付き解説書：レクイエム発音講座／フィガロの結婚』が有る。

洗足学園音楽大学講師 尚美音楽大学新音楽集団「匠」指揮者 ぐるーぷ・な一へ幹事
日本合唱指揮者協会理事 Ensemble BWV2001 メンバー iARTS 理事
アットプリモ同人

川井敬子 Keiko Kawai (Piano)



桐朋女子高等学校音楽科ピアノ専攻を経て、同大学音楽学部を卒業後渡米。インディアナ州立大学音楽学部に入學。

カリフォルニア州ジョアナ・ホッジ・シューマンコンクールにて名誉賞を受賞。

イリノイ州カンカッキー・ヤングアーティストコンクールにて第2位入賞。6回のリサイタルを終え、アーティストディプロマコースを修了。帰国後、日本演奏連盟主催によるオーディションに合格し、同主催の〈えんれんコンサート〉に出演。第9回ピティナ・ピアノ・コンペティション特級にて銅賞受賞。東京・柏にて5度のリサイタルを開催する等、ソロ活動の他、合唱・声楽の伴奏・録音等でも活躍中。

佐竹由美 Naomi Satake (Soprano)



東京藝術大学及び同大学院修了、現在同博士課程在籍中。在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー財団給費留学生としてイタリアにて研鑽を積む。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞、同時にA.C.ゴメス賞受賞。ドイツ・ライプツィヒにおける第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。オペラでは、『後宮からの逃走』『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』などに主要キャストとして出演、2000年二期会『魔笛』では夜の女王を完璧なコロラトゥーラ技法で演じ、満員の会場を沸かせた。また、04年二期会『エジプトのヘレナ』（日本初演）に難役アイトラで出演し、公演の成功に大きく寄与した。各地でのリサイタルやコンサート活動に対し、99年よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞を受賞。

バッハ「マタイ受難曲」を始め、ミサ曲、オラトリオなどの宗教作品のソリストとしての活躍は目覚しく、確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。多くの著名な音楽家とも共演し、現代作品においても作曲家諸氏から絶大なる信頼を得て数多くの新作作品の紹介に関わっている。2005年NHK交響楽団《Music tomorrow》にも出演予定。

CD録音としては『世界の愛唱歌』『ジョイフル・クリスマス』（キングレコード）、『バッハ・カンタータの森を歩む』（東京書籍）、シューマンオラトリオ『楽園とベリー』、国枝春恵作品集『セラフィム』等がある。また今秋、ソロアルバムを発売予定。

二期会会員

プロフィール

阪口直子 Naoko Sakaguchi (Alto)

武蔵野音楽大学卒業。東京藝術大学大学院修了。三池三郎、G. ファバレットの各氏に師事。武蔵野音楽大学在学中に《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ役で出演。大学院在学中にはヴェルディ《レクイエム》及びバッハの《ロ短調ミサ》のアルト・ソロを務める。1984年度文化放送音楽賞受賞。1985年イタリア・シエナのキジアーナ音楽院夏期講習に参加し、最優秀賞を受賞。《第九》《メサイア》をはじめ、ヴィヴァルディとベルゴレージの《スタバト・マーテル》、バッハ《クリスマス・オラトリオ》、モーツァルト《レクイエム》《ハ短調ミサ》、ロッシーニ《小荘厳ミサ》、メンデルスゾーン《エリア》(N響定期、サバリッシュ指揮)、ブラームス《アルト・ラブソディー》、マーラー《交響曲第2番〔復活〕》等のソリストとして活躍。オペラではチェスティ《オロンテア》コリンド、モーツァルト《フィガロの結婚》マルチェリーナ、ロッシーニ《ランスへの旅》メリペアー侯爵夫人を演じる。国立音楽大学非常勤講師。アンサンブル《BWV 2001》メンバー、日本ロッシーニ協会会員、日本フォーレ協会会員



佐伯正彦 Masahiko Saeki (Drums)

国立音楽大学卒業。

1991年よりPercussion Ensemble OKADA of Japanのメンバーとして世界8カ国10回の海外公演・ツアーに参加。

三枝成彰作曲、オペラ「忠臣蔵」(東京文化会館・初演、愛知芸術文化センター／新国立劇場・再演)にソロティンパニストとして出演。

第19回草津夏期国際音楽アカデミーにゲスト演奏者として出演、ウィーンフィルハーモニー交響楽団メンバーと共演する。

コシノヒロコ「ファッションビジョン21」(音楽:三枝成彰)にソロパーカッションist

として出演。

これまでに、NHK、NHK-FMをはじめ、数多くのテレビ、ラジオの音楽番組に出演。

CDは、岡田知之パーカッションアンサンブル全3枚をはじめ多数の制作に参加、自身の作曲による作品も収録されている。アフリカの民族打楽器を取り入れた打楽器アンサンブル曲「だれもいないおひさまの店」は、現在台湾にて楽譜とCDが発売されており好評を得ている。

また全国各地の吹奏楽指導にもあたり、吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト等の審査員も務めている。

現在、東京アカデミアシンフォニカ、VIVID BRASS TOKYOティンパニ奏者、岡田知之打楽器合奏団団員。

洗足学園音楽大学、洗足学園高等学校音楽科講師、洗足学園音楽大学附属打楽器研究所研究主任。

日本打楽器協会理事。

川口有喜 Yuki Kawaguchi (Wood Base)

5歳よりピアノ、13歳よりコントラバスを学ぶ。洗足学園大学付属高等学校音楽科を経て洗足学園大学音楽学部器楽科を卒業。在学中よりアカデミー室内オーケストラにて海野義雄氏に室内楽を師事。コントラバスを笠原勝二、石川滋、イルジーフデッツ、菅野明彦各氏に師事。スイスシオンの音楽祭でダンカンマクティア氏のマスタークラスを終了。現在フリーランス奏者としてオーケストラ、室内楽等で活動中。



女声合唱とピアノのための組曲

夢二幻想 より

尾崎左永子 詩

宵待草の歌

日のぬくみ のこる夕ぐれ
砂山は 影やさし
ひとつふたつ みつよついつつ
ほのじろき花ひらく
この宵も 誰をまつ 宵待草

夕月の 淡きひかりに
波さへも 音をしずめて
忘れ去りし 想いならずや
まぼろしの花ひらく
この宵も 人知れぬ 宵待草

紫に 海は昏れゆき
昏れのこる 思いかすか
忘れ難き 愛しきことば
ふるえつつ花ひらく
この宵も 切なきは 宵待草

『待てどくらせど来ぬ人を
宵待草のやるせなさ
今宵は 月も出ぬそうな』

風に吹かれて 砂はさらさら
流れ去りゆく 時はさらさら

夕風にほのかに冷えて
この宵も 幻に咲く 宵待草

揺れる

ゆれるゆれる
ふたりやさしくゆれている

うしろ姿の衿もとが
白くはかなく
もし いま
せつない思いをうちあけたら
そのままあなたは消えてしまいそう
はじらいながら拒むあなたの
でも
あまりにやさしいその項うなじ

うしろ姿の衿もとに
ほくろがひとつ
匂いたつ若葉のように
匂いたつ 光る黒髪
その黒髪を乱したい
はげしいところを抑え抑えて
ゆれる ゆれる
心はゆれる ゆれる ゆれる

こちらを向いて下さい
わたしのところをきいてください

愁いにぬれて
あなたの瞳は深い海
伏せたまつげのかげから
いまひと粒の 涙が生れる
唇に 涙を
ゆれる ゆれる ゆれる ゆれる

遠い祈りの声に似て
ふたりやさしくゆれている
永遠のときのまにまに
ゆれる ゆれる ゆれている

秋のところに

秋の日に照らされて
あけびの実は紫
仰げば
山の空はとこしえの青
雲しずかに

女よ わたしの胸に
その黒髪を その指を
その白い頬を 寄せてよ

このつかのまの平安を
さんたまりあ
われら二人に

この子とこしえ
清きおとめと生まれしを

——人と人が闇に生まれ
人と人が光に出逢い
かがやき きらめき
消え去る
流れ星のように

その一瞬のために
わたしは何を賭けたのか――

この掌てにのこる生いのちの
たとえ明日消えようとも

せめて せめて
いとせめて しばしの時を

このつつましい秋のところに
さんたまりあ つかのまの平安を
さんたまりあ

思い出のうた

くりの実

大野晴子 詩

くりの実
くりの実
くりは静かないろをしている

くりの実
くりの実

くりは懐かしいあじをしている

くりの木は
思い出をたべて
大きくなった

だから
まるく ふとった
くりの実は
思い出の
かたまりだ

つきよ

深尾 須磨子 作詞

となりのおばさん こんばんは
きれいな きれいな つきよです
おばさん ごきげん いかがです
いっしょに うたを うたいましょう

となりのぼうや ありがとう
きれいな きれいな つきよです
わたしは ひとり まどのそば
あかりを けて みています

かっぱ

谷川俊太郎 作詩

かっぱかっぱらった
かっぱらっぱかっぱらった
とってちってた

かっぱなっぱかった
かっぱなっぱいっぱかった
かってきってくった

霧と話した

鎌田忠良 作詞

わたしの頬はぬれやすい
わたしの頬はさむいとき
あの日あなたがかいたのは
なんの文字だかしらないが
そこはいまでもいたむま

そこはいまでもいたむま
霧でぬれたちいさい頬
そこはすこしつめたいが
ふたりはいつも霧のなか
霧と一緒に恋をした

霧と一緒に恋をした
みえないあなたにだかれてた
だけどそれらがかわいたとき
あなたはあなたなんかじゃない
わたしはやっぱり泣きました

ハヴァ ナギラ

ハヴァ ナギラ ヴニスマハ ハヴァンランナ
ヴニスマハ ウルアヒム プレヴサメア

聞こえる

岩間芳樹 作詩

鐘が鳴る 鳩が飛び立つ
広場を埋めた群衆の叫びが聞こえる
歌を 歌をください

陽が落ちる 油泥の渚
翼なくした海鳥のうめきが聞こえる
空を 空をください

歩み寄る 手に手に花を
歳月こえて壁ごしに「歓喜の歌」が聞こえる

夢を 夢をください

こだまして 木々が倒れる
追われて消えた野の人の悲しい笛が聞こえる
森を 森をください

時代が話しかけている

世界が問いかけている
見えている 聞こえている 感じている
だけど なにもできないこの部屋で
膝を抱いてひとりうずくまっているいらだち
教えてくださいなにができるか
光っている道を心ひらいて歩いていきたい
なにができるか教えてください

四つの沖繩の歌

1. 子守唄

歌詞

あるイから あるイおる
うふつきぬゆ
うちなんやいまん
ていらしょうり
ホーイ チョーガ

つきぬ美しや
十日三日
美やらび美しや
十七つ

解説

「月の美しいのは十三夜、乙女のかわいいのは十七歳」と歌う八重山の子守唄「月ぬ美しや」をアレンジしました。

2. 遊び歌

歌詞

じんじん じんじん
酒屋ぬ(壺屋ぬ 久茂地ぬ) 水飲でイ
落ちてイりよ じんじん
下がりよ じんじん

ちんなんもう ちんなんもう
東ぬ後から 親親求めて
ちんなんもう
ちんなんもうや 目あいん
ちんなんもうや 目ないん
ちんなんもう ちんなんもう

牛モーモー
田かいど
田ぬ水くんで一すな
朝飯夕飯にじんなよ
牛と馬

対訳

東から上がってこられる
大月の夜(よ)
沖繩も八重山も
照らしてください
ホーイ チョーガ

月の美しいのは
十三夜(で)
娘の美しいのは
十七歳

対訳

ほたる ほたる
酒屋の(壺屋の 久茂地の) 水を飲んで
落ちろよ ほたる
下がれよ ほたる

かたつむり かたつむり
東のほうから 親を求めて
かたつむり
かたつむりよ 目があるの
かたつむりよ 目がないの
かたつむり かたつむり

牛モーモー(よ)
田へ行くよ
田の水を汲みつくすな
朝飯夕飯を逃がすなよ
牛と馬

こーじゃ馬小
かたばら
潟原かいど
んま
馬ぬ鞍押してい
じゃんじゃん 馬小
(以下同じ)

こーじゃー (まだらの) 馬よ
潟原へ行くよ
馬の鞍を押して

解説

おもに沖縄本島で歌われるわらべうた。生き物や自然を歌ったものが多く、それらをメドレーで歌います。

3. 別れの歌

歌詞

サーなり山や
馴りていぬ なり山
すみ山や
染みていぬ すみ山
イラユマーン サーヤーヌ
染みていぬ すみ山

サーなり山 参いしてい
馴りぶり さますな主
すみ山 参いしてい
染みぶり さますな主
イラユマーン サーヤーヌ
染みぶり さますな主

解説

宮古島の民謡「なり山アヤグ」より。韻をふんだ美しい旋律でよく知られ、旅立つ夫の無事を祈る妻の歌とされています。

4. 舞の歌

歌詞

サーサ サーサ ハイハイ
海ぬチンポーラ小
逆なやい 立ていば
足ぬ 先々
危なさや
支度ぬ悪っさや
側なり なーり

サー 浮世ぬ真ん中
ドウサドウサ ドウツサイ
島ぬ ハイハイ
ハイ ハイ ハイ

海ぬさし草や
あん美らさ なびくよ
我身ん 里前とう

対訳

サーなり山は
馴れた なり山
すみ山は
染めての すみ山
イラユマーン サーヤーヌ
染めての すみ山

サーなり山に いらっしゃって
馴れすぎないようにね 主 (あなた)
すみ山に いらっしゃって
染まりすぎないようにね 主 (あなた)
イラユマーン サーヤーヌ
染まりすぎないようにね 主 (あなた)

対訳

サーサ サーサ ハイハイ
海のチンポーラ貝は
逆さに 立てば
足の 先々が
危ないよ
かつこうが悪いね
側にはなれて いなさいよ

サー 浮世の真ん中よ
ドサドサ ドツサイ
島の ハイハイ
ハイ ハイ ハイ

海のサシ草や
あのように美しく なびいている
わたしも あなたへと

なびくよ
支度ぬ悪つさや
側なり なーり

サー 浮世ぬ真ん中
ドウサドウサ ドウツサイ
海ぬチンポーラ小
サーサ ハイハイ

解説

そして最後にこれをなくして沖縄は語れないという「カチャーシー」のリズムで「海ぬチンポーラ（巻貝）」より。

なびくよ
かっこうが悪いね
側にはなれて いなさいよ

サー 浮世の真ん中よ
ドサドサ ドツサイ
海のチンポーラ貝は
サーサ ハイハイ

A Little Jazz Mass 訳

キリエ

主よ あわれみたまえ
キリストよ あわれみたまえ
主よ あわれみたまえ

グローリア

天のいと高きところには神に栄光
地には善意の人に
平和あれ
われら主をほめ
主をたたえ
主をおがみ
主をあがめたてまつる

主の大いなる栄光の ゆえに
主に感謝したてまつる

神なる主
天の王
全能の父なる神よ
主なるみひとり子よ
イエズス・キリストよ
神なる主
神の子羊
父のみ子よ

夜の罪を除きたもう主よ
われらをあわれみたまえ
世の罪を除きたもう主よ
われらが願いをききいれたまえ
父の右に座したもう主よ

われらをあわれみたまえ

主のみ聖なり
主のみ王なり
主のみいと高し
イエズス・キリストよ
聖霊とともに
父なる神の

サンクトゥス

聖なるかな 聖なるかな 聖なるかな
万軍の主なる神
主の栄光は天地に
みつ
天のいと高きところにホザンナ

ベネディクトゥス

ほむべきかな
主の名によりて来る者
天のいと高きところにホザンナ

アニュス デイ

神の子羊
世の罪を
除きたもう主よ
われらをあわれみたまえ

われらに平和をあたえたまえ



第27回全日本おがあさんコーラス全国大会 2004.8.29 よこすか芸術劇場

メンバー

ソプラノ

石井 漢 津	泉 田 きよ子	伊 藤 知 子	市 川 美枝子
井 原 直 子	及 川 純 子	小 野 喜久子	今 野 千賀子
田 邊 千 純	中 村 睦 子	中 本 千寿子	中 山 美千代
松 浦 正 子	森 眞 矢	森 岡 まき子	

メゾソプラノ

小 沢 治 子	落 合 富 子	熊 坂 みつ子	小 湊 美奈子
近 藤 妙 子	佐 藤 澄 子	谷 川 吉 美	中 島 裕 子
初 田 美穂子	松 本 佳 代	松 本 直 子	味 形 三千代
宮 下 彩 子	柳 田 智恵子	山 賀 章 子	渡 辺 美 恵

アルト

浅 野 やよい	石 川 純 子	伊 東 幸 恵	乾 洋 子
尾 形 和 江	鬼久保 朋 子	篠 崎 ちさゑ	清 宮 佳 子
田 島 奈 臣	塚 本 賀 子	仲 佐 桂 子	渡 辺 修 子

くりの実会のあゆみ

- | | | |
|------|----|-------------------------------|
| 1980 | 3 | 発足（指揮者 鈴木昭子先生、ピアニスト 本林良子先生） |
| 1983 | 9 | 第25回都民合唱コンクール初出場 |
| 1985 | 3 | 第1回定期演奏会 バリオホール |
| | 4 | 指揮者に辻秀幸先生を迎える |
| 1988 | 10 | 第2回定期演奏会 バリオホール |
| | 10 | 第30回都民合唱コンクール 奨励賞 |
| 1991 | 6 | 第14回全日本お母さんコーラス東京支部大会初出場支部大会賞 |
| | 9 | 第33回都民合唱コンクール 努力賞 |
| | 11 | 第3回定期演奏会 バリオホール |
| 1992 | 6 | 第15回全日本お母さんコーラス東京支部大会 マーガレット賞 |
| | 9 | 第34回都民合唱コンクール 努力賞 |
| 1993 | 6 | 第16回全日本お母さんコーラス東京支部大会 マーガレット賞 |
| | 9 | 第35回都民合唱コンクール 奨励賞 |
| 1994 | 6 | 第17回全日本お母さんコーラス東京支部大会 支部大会賞 |
| | 11 | 第4回定期演奏会 カザルスホール |
| 1995 | 10 | 第37回都民合唱コンクール 第3位 |
| 1996 | 6 | 第19回全日本お母さんコーラス東京支部大会 支部大会賞 |
| | 8 | 第19回全日本お母さんコーラス全国大会（熊本）大会賞 |
| | 10 | 第38回都民合唱コンクール 第5位 |
| 1998 | 1 | 第5回定期演奏会 紀尾井ホール |
| | 6 | 第21回全日本お母さんコーラス東京支部大会 支部大会賞 |
| | 8 | 第21回全日本お母さんコーラス全国大会（倉敷）ひまわり賞 |
| 1999 | 4 | JCDA 女声合唱フェスティバル 新宿文化センター大ホール |
| | 9 | 第40回都民合唱コンクール 奨励賞 |
| | 9 | 千原英喜合唱作品の世界 浜離宮朝日ホール |
| 2000 | 6 | 第23回全日本お母さんコーラス東京支部大会 支部大会賞 |
| | 10 | 第41回都民合唱コンクール 奨励賞 |
| 2001 | 4 | 第6回定期演奏会 紀尾井ホール |
| 2003 | 2 | NHK BS 日本のうた出演 |
| | 10 | 第44回都民合唱コンクール 第4位 |
| 2004 | 5 | 第27回全日本お母さんコーラス東京支部大会 支部大会賞 |
| | 8 | 第27回全日本お母さんコーラス全国大会（横須賀）ひまわり賞 |
| | 11 | ピアニストに 川井敬子先生を迎える |
| 2005 | 5 | JCDA 合唱フェスティバル 滝野川会館 |
| | 6 | 第7回定期演奏会 紀尾井ホール |
| | 10 | 東日本合唱祭 出演予定（一関） |